



The 7th Sports & Oxidative stress・Anti-oxidant Seminar

第7回 スポーツと酸化ストレス・抗酸化 セミナー

～2020年東京オリンピック・パラリンピックでの日本代表選手の躍進に向けて～

会 場 秋葉原コンベンションホール
東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

日 時 2020年3月22日(日)12:30~17:00(受付11:45~)

参加費 一般¥10,000 ユーザー¥5,000 *通訳付

定 員 100名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

懇親会 参加費：¥5,000
場 所：chiocciol@pizzeria 秋葉原UDX内AKIBA_ICHI 1F
時 間：17:20~18:50

主 催 株式会社ウイスマー/レドックス分析センター

後 援 International Observatory of Oxidative Stress (Italy)



アスリートコンディショニングにおける酸化・還元バランス、リピドミクスと酸素セラピー

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」での日本選手の躍進に向けて、2014年より開催しております本セミナーは、今回で7回目を迎えさせて頂きます。過去6年間でパフォーマンスレベルと酸化ストレス、筋疲労・筋損傷や持久力の低下と酸化・還元バランス状態、生体内の抗酸化防御系発動のメカニズム、酸化ストレス軽減のための有効的な抗酸化物質摂取法など、アスリートのコンディショニングに大切な要素が一段と明らかになって参りました。

筋疲労による炎症を抑制するために、「リピドミクス脂肪酸テスト」で脂肪酸のバランスを解析し、積極的にオメガ3系脂肪酸を補給するアスリートも増加しております。

パフォーマンスの向上や筋疲労の早期回復、怪我予防に「高濃度酸素注入セラピー」はアスリートの強力な味方になることも示唆されて参りました。

7回目となる本セミナーでは、国内外から計9名の先生方にスポーツと酸化ストレス・リピドミクスの関係、積極的な抗酸化物質の摂取法、酸素注入セラピー等についての最新研究をご講演頂きます。

本セミナー後、123日でいよいよ東京オリンピックが開催されます。多くの競技指導者・研究者・競技者の皆様のご参加をお待ち致しております。



株式会社ウイスマー 代表取締役社長 関 泰一



特別講演1

国際酸化ストレス研究機構(イタリア)会長
Eugenio Luigi Iorio 先生
演題●酸化ストレス:スポーツと微生物叢間のミッシング・リンク



特別講演2

イタリア・モリーゼ大学医学健康科学部 教授
Giovanni Scapagnini 先生
演題●オメガ3とポリフェノールの重要性:
アスリートへの新しい栄養補助食品戦略



特別講演3

福島大学 人間発達文化学類 教授
福島大学 陸上競技部 監督
東邦銀行 陸上競技部 監督
川本 和久 先生
演題●一滴の血液が教えてくれた



講演 1

帝京大学スポーツ医科学センター 助教
佐賀 典生 先生
演題●スポーツにおける酸化ストレス対策



講演 2

順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 准教授
深尾 宏祐 先生
演題●局所的振動刺激が酸化ストレスへ及ぼす影響



講演 3

崇城大学総合教育センター 教授
石倉 恵介 先生
演題●マラソンが酸化ストレス、抗酸化力に及ぼす影響



講演 4

山梨大学大学院総合研究部教育学域 教授
小山 勝弘 先生
演題●スポーツ科学における水素分子の可能性
—酸化ストレスに着目して—



講演 5

かみもとスポーツクリニック 理事長
上本 宗忠 先生
演題●アスリートへの経皮的酸素注入療法による早期スポーツ復帰



講演 6

日本体育大学体育学部 教授／体育学科長
杉田 正明 先生
演題●長距離選手における酸化ストレスと抗酸化力



講演 7

早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
鈴木 克彦 先生
演題●持久性運動によるサイトカインの動態と制御



お申し込み・お問合せ

株式会社ウイスマー TEL : 03-5802-7333 FAX : 03-5802-7332 E-mail : info@wismerll.co.jp

プログラム 予定	
主催者挨拶 関 泰一	株式会社ウイスマー 代表取締役社長
講演1 佐賀 典生	先生 演題● スポーツにおける酸化ストレス対策
講演2 深尾 宏祐	先生 演題● 局所的振動刺激が酸化ストレスへ及ぼす影響
特別講演1 Eugenio Luigi Iorio	先生 演題● 酸化ストレス・スポーツと微生物叢間のミッシング・リンク
休憩	
講演3 石倉 恵介	先生 演題● マラソンが酸化ストレス、抗酸化力に及ぼす影響
講演4 小山 勝弘	先生 演題● スポーツ科学における水素分子の可能性 —酸化ストレスに着目して—
特別講演2 Giovanni Scapagnini	先生 演題● オメガ3とポリフェノールの重要性: アスリートへの新しい栄養補助食品戦略
休憩	
講演5 上本 宗忠	先生 演題● アスリートへの経皮的酸素注入療法による早期スポーツ復帰
講演6 杉田 正明	先生 演題● 長距離選手における酸化ストレスと抗酸化力
講演7 鈴木 克彦	先生 演題● 持久性運動によるサイトカインの動態と制御
特別講演3 川本 和久	先生 演題● 一滴の血液が教えてくれた
閉会	

活性酸素とスポーツ選手

活性酸素とは活性化された酸素のことで、酸化力が強い酸素です。呼吸によって1日に500L以上の酸素を体内に取り入れているといわれています。その酸素を使って食事で摂った栄養素を燃やし、エネルギーを作り出していますが、この過程で取り入れた酸素の約2%が活性酸素に変わるとされています。

活性酸素は「人生の分かちがたい伴侶」であり、体内に侵入したウイルスや細菌への攻撃、そして血液の流れの制御、血圧のコントロールなどの多くの生理機能を行っています。しかし、これが過剰になった場合は、健康な細胞まで酸化してしまいます。

スポーツ選手は一般人よりも多くの酸素を摂取するため、必然的に体内で発生する活性酸素は多くなります。

酸化ストレス・抗酸化力の測定

酸化ストレスとは生体内の活性酸素の生成と抗酸化力に不均衡が生じ、酸化に傾いた状態を言います。酸化ストレス状態は、正常な細胞や内臓、血管内皮細胞を傷つけ、疲労の蓄積、パフォーマンスの低下、さらには早期の老化や100以上の疾患を引き起こす原因となります。このため、私たちは良好な酸化バランスを維持するために、定期的に酸化ストレスの状態をモニターする必要があります。スポーツ選手のコンディションを評価する客観的な指標になります。

d-ROMsテスト (Reactive Oxygen Metabolites:活性酸素代謝物テスト)は血清/血漿サンプルのトータルの酸化能力を調べるために適した方法で、身体が作りだしている活性酸素の量を正確に反映したものとなっています。

BAPテスト (Biological Antioxidant Potential:生体抗酸化能テスト)は血清/血漿サンプルの抗酸化力を調べるために適した方法で、活性酸素からの攻撃に対して私たちの身体が対抗できる能力を反映したもので。

リピドミクスFA(脂肪酸)テスト

脂肪酸とは体の大切なエネルギー源で、細胞膜の構成成分であり、ホルモンバランス調整、ビタミン吸収の補助など重要な働きを担っている必要不可欠な栄養素です。本テストでは全血中のオメガ3脂肪酸、オメガ6脂肪酸、飽和脂肪酸、一価不飽和脂肪酸、トランス脂肪酸の22種類の脂肪酸の体内分布量を網羅的に計測し、摂取すべき脂肪酸、控えるべき脂肪酸を示します。

酸素注入法とスポーツ選手

酸素注入法とは注射針を使わずに、非侵襲で酸素不足の部位に酸素を注入する方法です。従来の呼吸から高濃度の酸素を吸入するのとは違い、酸化ストレス状態にすることがあります。この酸素注入法は元々、美容分野で使われていましたが、近年、スポーツ分野での応用が注目されています。トレーニング後の疲労回復、スポーツ外傷など幅広い応用が期待されています。

●日時／2020年3月22日(日) 12:30～17:00(受付11:45～)

●会場／秋葉原コンベンションホール

東京都千代田区外神田1-18-13 秋葉原ダイビル2F

●セミナー参加費／一般￥10,000 ユーザー￥5,000 *通訳付

●定員／100名(定員になり次第締め切らせて頂きます)

●懇親会／参加費:￥5,000

場所: chiocciola@izzeria 秋葉原UDX内AKIBA_ICHI 1F
時間: 17:20～18:50

●お申し込み方法／FAXまたはホームページよりお申し込み下さい。

1回で1名様の受付となります。複数名ご希望の方はお手数ですが、人数分のお申し込みをお願いいたします。お申し込み後参加費を2020年3月13日(金)までにお振込み下さい。お振込み確認後チケットをE-mailにてお送りいたします。

●お申し込み期限／2020年3月13日(金)

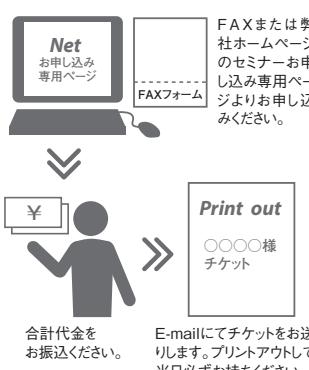
席に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

●お振込先／三菱UFJ銀行 神田駅前支店普通口座

1628237 株式会社ウイスマー

●お問い合わせ／TEL.03-5802-7333 E-mail info@wismerll.co.jp

お申し込みの流れ



アクセスマップ



FAXでお申し込みの方はこちらのFAXフォームをご利用ください。

■下記のいずれかにチェックを入れてください。

●第7回スポーツと酸化ストレス・抗酸化セミナーに参加します。〈 ウィスマー製品ユーザー ノンユーザー 〉

●懇親会に〈 参加します 参加しません 〉別途￥5,000となります。

ぶりがな

御名前

御住所 (〒 -)

TEL.

FAX.

お振込名義

※お申し込み氏名とお振込名が異なる場合、必ずご記入ください。

備考(ご紹介者など)

E-mail

@

※チケットをE-mailにてお送りします。必ずご記入ください。

御組織名

役職名

お振込予定日

月

日

領収書

要

不要

※ご郵送致します